
一奴一『ヤツ』

紅凰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

― 奴 ― 『ヤツ』

【Nコード】

N8349N

【作者名】

紅凰

【あらすじ】

人なら誰にでも襲われたことのあるであろう「ヤツ」に対抗する方法を教えよう――。

（前書き）

久しぶりの投稿です。

と言っても、前のIDがおじちゃんになってしまったので一作目扱いですけどww

あまり期待はしないでください。

まだ習作の域を脱出しきれてない感満載です。
どうぞ暇潰し程度に。

貴方にひとつタメになる話をしよう。

人なら一度は経験があるだろう。

ヤツに襲われた事が。

突然、ヤツはやってくる。

気がつけば貴方の頭を支配し始めているそれは音もなく貴方に忍び寄る。

その多くは人間という生き物が最も集中していたいときにやってくる傾向が強い。

ヤツは厄介だ。

神出鬼没である上に姿が無いのだ。

ヤツを予知するのは不可能に近い。

襲われたらひとたまりもないだろう。

ヤツは人間の意識を奪う。

人の意識を奪い、代わりにその人間を幻想の世界へと誘う。

その幻想は、人の心の奥底にある欲望や恐怖を具現化したものである。

リアルに再現し、人を騙す。

そして人が幻想だと気づいたときの顔を見て笑ってるのだ。

なんて嫌らしいヤツだろうか。

ヤツに顔があつたら、きつとぞつとするほど酷い顔をしてるに違いない。

なにせヤツは性格が破綻してるのだから。ヤツの名の通り悪魔の所業だ。

その歪んだ面を引っ提げ、ヤツは今日もやってくるだろう。

人はヤツの思うままにやられていて良いのだろうか？

否。

人々はヤツに屈してはならないのだ。

人は元来、生物の中でもずば抜けた頭脳を駆使し、様々な敵を排除してきた。

それをもつてすれば、ヤツに対する対抗策は無いわけではない。

長年、ヤツを研究してきた私が考え出した、最も簡単でかなりの効力を持つ方法をお教えしよう。

それは至って簡素なものである。

まず用意するのは、香りの強い葉っぱを干して乾燥させ、細かくしたもののや、豆を炒って砕いたものである。

次に、陶器の入れ物、濾過装置、濾紙を用意する。

そして濾過装置に濾紙をセットし、更に葉っぱ又は豆を加える。

最後に、濾紙装置の下に陶器の入れ物を置き、熱湯をゆっくり注げば完成である。

人によつては砂糖を入れたものを好む場合もある。

そうして出来た液体を飲めば、何故だかヤツはやってこない。

実は、その液体に含まれる成分がヤツを寄せ付けないのだ。

なんて素晴らしい。

さあ、貴方もこの厄介なヤツに対抗し、有意義に時間を使ってくれたまえ。……おっと、ヤツが来たようだ。瞼が重くなってきた。

連日、研究詰めで疲れも溜まっているしな。

意識を保ってられるのも数分が限界か。

いまからじゃ、対抗する液体を作製する余裕もない。

仕方がない……。

今日のところは不本意だが屈するとしよう。

全く……――。

本当に厄介だ。

この睡魔ってヤツは。

(後書き)

このような拙作を最後まで読んで頂きありがとうございます。

どうです？ まだまだ習作の域だったでしょう w w

これからまたどんどん書いてももっとも成長して行けるよう頑張ります。

心やさしい方、感想やアドバイスをお願いします。

どんなものでも結構です。

この作品に対する文句、欠点、不満を大募集です w w

あと興味のある方は旧 I D であるもうひとつの紅凰の作品も見てください。

これよりもっと酷いので、どうかおもいきり笑い蔑み罵ってやってください。

たぶん作者に似て M などがあります。

それではまた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8349n/>

— 奴 — 『ヤツ』

2010年10月9日10時55分発行